

講演会「市民による河川環境の見かた・調べかた ～英国「PRAGMO」に学ぶ～」

開会趣旨

地域が主体となった河川の効果的かつ持続的な再生のためには、河川の特徴や課題に応じた再生及び活動の目標設定と河川の状態や自然環境を把握するための適切な環境調査(モニタリング)が重要です。

河川再生の分野で先進的な活動を展開する英国では、英国河川再生センター(the River Restoration Centre)により、市民のための河川環境調査手引きとして「PRAGMO: Practical River Restoration Appraisal Guidance for Monitoring Options」が2011年11月に作成・公開されました。

本講演会は、英国における河川再生の取り組みを英国河川再生センターのジェニー・マント博士にご教授いただくとともに、日本国内における活動事例を紹介し、地域主体の河川環境の見かた・調べかたの理解を深めていくものです。

プログラム

- 13:30～13:35 開会挨拶 佐合 純造(日本河川・流域再生ネットワーク事務局長)
- 13:35～13:40 英国の河川環境調査手引き「PRAGMO」の紹介
日本河川・流域再生ネットワーク事務局
- 13:40～14:40 基調講演1:「PRAGMO」作成の背景と主な特徴、その活用について
ジェニー マント(英国河川再生センター 科学・技術マネージャー)
- 14:40～15:10 基調講演2: 荒川における河川再生の取り組み
恵 小百合(荒川流域ネットワーク 代表)
- 15:10～15:25 休憩
- 15:25～16:55 総合討論:
市民による河川環境調査の更なる推進に向けて何が必要か
座 長: 白川 直樹(筑波大学 准教授)
パネラー: ジェニー マント(河川再生センター 科学・技術マネージャー)
恵 小百合(荒川流域ネットワーク 代表)
山道 省三(NPO 法人全国水環境交流会 代表理事)
藤井 政人
(国土交通省 水管理・国土保全局河川環境保全調整官)
- 16:55～17:00 閉会挨拶

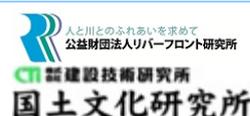
主催

日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN), Asian River Restoration Network(ARRN),
公益財団法人リバーフロント研究所

後援

英国河川再生センター(the River Restoration Centre)

JRRNは「アジア河川・流域再生ネットワーク構築と活用に関する共同研究」の一環として、公益財団法人リバーフロント研究所と株式会社建設技術研究所 国土文化研究所が公益を目的に運営を担っています。



講師紹介

● 白川 直樹（筑波大学システム情報系 准教授）



専門は河川環境工学。

東京大学助手、筑波大学講師を経て 2010 年より現職。

河川環境の経済評価、ダムによる流量変動の統計分析、山地河道の物理環境計測、環境流量のグローバルモデリングなどの研究を行っている。

アジア河川・流域再生ネットワーク技術委員。

ジェニー マント

● Dr. Jenny Mant（河川再生センター 科学・技術マネージャー）



ポーツマス大学の地理学科を卒業し、その後同大学で博士課程を修了。

2002 年に河川再生センター（英国）に入社するまでは、ポーツマス大学 RACER（川と沿岸環境研究）グループと EU の研究者 MEDALUS（地中海砂漠化と土地利用）チームで活躍した。

河川再生センターでは、河川再生事業とその後の維持管理に関する技術アドバイザーを担う。

● 恵 小百合（荒川流域ネットワーク 代表、江戸川大学 教授）



流域経営の視点で暮らしの環境やその持続可能性を考え、森林保全から石垣島のサンゴ礁保全まで研究・貢献活動中。環境問題を地球規模で考え、身近な地域で行動できる市民・企業・行政の連携が重要を説き、市民活動団体が環境、地域社会の質を高める重要な役割を果たす担い手として、環境インタープリターとなれる人材の育成を目指している。

（財）政策科学研究所主任研究員、（社）日本ナショナル・トラスト協会事務局長、（財）国立公園財団、公益法人協会評議員、（NPO）荒川地域ネットワーク代表、NPO 支援センターちば代表理事、全国源流ネットワーク副代表、自然環境復元協会理事など市民活動を経て、1992 年に江戸川大学に就任。平成 20 年 4 月より江戸川大学総合福祉専門学校校長兼務。

● 山道 省三（全国水環境交流会 代表理事）



1949 年長崎県長与町生まれ。NPO 法人多摩川センター、NPO 法人全国水環境交流会の立ち上げから関わり、現在は両団体の代表理事を兼任。いい川・いい川づくり（ワークショップ）実行委員会事務局長。社会参加、NPO の運営等、デザイン以前の仕組みづくりに興味を持つ。特に NPO の活動は、今後の国土管理、維持、運営に大きな可能性を秘めていると考える。

● 藤井 政人（国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境保全調整官）



1991 年東京大学工学部を卒業後、建設省（現・国土交通省）に入省。関東地方整備局企画部企画課長、大臣官房技術調査課課長補佐、河川局河川計画課課長補佐、近畿地方整備局大和川河川事務所長、近畿地方整備局企画部企画調整官、水資源機構ダム事業部事業課長などを経て、2012 年 9 月より現職。